

TDSE、KDDI Digital Life 社の「povo2.0」に AI エージェントプラットフォーム「Dify」を導入

国内導入大手として、実装・運用支援を通じた生成 AI エージェント事業の拡大を加速

TDSE 株式会社（東京都新宿区、代表取締役社長：東垣直樹）は、KDDI が提供するオンライン専用プラン「povo2.0」を企画・運営する KDDI Digital Life 株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長：濱田達弥）のカスタマーサービス領域に、AI エージェントプラットフォーム「Dify」を導入したことをお知らせいたします。

企業の生成 AI 活用は、試験導入から実業務への組み込みへ移行しています。重要となるのは、ツール提供にとどまらず、業務設計、AI エージェント構築、運用改善までを一貫して進める実装力です。TDSE は国内初の「Dify」公式販売・開発パートナーとして、この実装力を強みに、AI エージェントの業務定着を支援しています。今回の導入は、利用者接点に近いカスタマーサービス領域に生成 AI を実装した具体的な事例です。実業務への導入実績を積み重ねることで、顧客接点の拡大に加え、ライセンス収益や導入・開発・運用支援機会の拡大につながります。

当社は新中期経営計画「SHIFT2028」で、生成 AI エージェント領域の拡大を重点戦略に掲げています。実業務での実装実績を積み上げ、企業の生成 AI 活用を支える中核的な存在を目指してまいります。

1、導入背景・選定理由と期待効果

オンライン専用サービスでは、チャットなどのデジタル接点が利用者との主要な窓口となります。問い合わせの多様化に対応し、迅速で分かりやすい回答、品質の均一化、継続的な改善を実現することは、顧客満足度と運用品質の両面で重要です。こうした課題を踏まえ、KDDI Digital Life では「povo2.0」のカスタマーサービス領域で、チャット問い合わせ対応の高度化を検討していました。

KDDI Digital Life が TDSE を選定した理由は、「Dify」導入・運用支援の実績と、要件整理から環境構築、業務アプリケーション開発、運用開始後の改善までを一貫して担える体制にあります。また、「Dify」のノーコード／ローコードによる構築のしやすさ、継続改善に適した運用性、エンタープライズ利用を見据えた管理性も評価されました。

今回、問い合わせ対応に必要な情報や業務フローをもとに AI チャットボットを構築し、カスタマーサポートの一部で活用を開始しました。本導入により、業務効率化、回答品質の均一化、迅速で分かりやすいサポート体験の提供が期待されます。運用で得られる知見は、社内ナレッジ活用など周辺業務への展開にもつながります。TDSE にとっても本件を通じて得られる知見を営業及びマーケティング支援など他領域へ展開する考えです。

2、今後の展開

TDSE は、国内における「Dify」活用の中核を担うパートナーとして、生成 AI エージェントの構築・運用支援を強化してまいります。特に、Dify エンタープライズライセンスの国内導入大手として培った実績を強みに、

今年度は特約店制度の開始や新ライセンス「Essential」「Standard」の提供を通じ、企業の活用フェーズに応じた導入機会を広げています。当社は、顧客業務に踏み込んだ業務型エージェントの実装力を高め、案件数の拡大と顧客基盤の拡充を進めてまいります。

案件数の拡大と実装力の向上は、収益の規模と継続性を高めます。新中期経営計画「SHIFT2028」に掲げる生成 AI エージェント領域で、ライセンスに導入支援、開発、運用改善を組み合わせた積み上げ型の収益構造へ転換し、同領域を成長の主軸として位置づけてまいります。

■ KDDI Digital Life 株式会社 概要

所在地	東京都千代田区九段南 1-6-5 九段会館テラス
代表者	代表取締役社長 濱田達弥
設立	2020 年 11 月 2 日
事業内容	povo2.0 における商品・サービス企画、マーケティング・販売促進、お客様サポート
ホームページ	https://k-dl.co/
サービスページ	https://povo.jp/

■ TDSE 株式会社 概要

所在地	東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティタワー27 階
代表者	代表取締役社長 東垣直樹
設立	2013 年 10 月 17 日
資本金	8 億 3,318 万円
役職員数	194 名（2026 年 4 月 1 日現在）
事業内容	データ経営を目指す企業向けに AI 技術を中心とした統合型ソリューションを提供
上場市場	東証グロース（証券コード：7046）
ホームページ	https://www.tdse.jp/

■ 「Dify」について

「Dify」は、生成 AI を活用した業務アプリケーション・AI エージェントをノーコード／ローコードで構築できるプラットフォームです。企業内ナレッジ活用・業務効率化・意思決定支援など幅広い用途に対応し、エンタープライズ向けの拡張性と管理機能を兼ね備えています。TDSE は国内初の公式販売・開発パートナーとして Dify の国内普及を推進するとともに、Dify エンタープライズライセンスの国内導入大手として実績を有しています。

サービスサイト：<https://dify.tdse.jp/>

■ 本件に関するお問い合わせ

【ビジネス・サービスに関するお問い合わせ】

TDSE 株式会社 担当：山本 E-mail：agent@tdse.jp

お問い合わせフォーム：<https://dify.tdse.jp/contact/>

【報道機関・投資家からのお問い合わせ】

E-mail：Investors@tdse.jp